

時 期	4月～11月	時 間	2時間～半日
難易度	★☆☆	対 象	どなたでも



磯釣り(BF)



<活動の概要>

長さ約2～3mの「のべざお」に自分で仕掛けやえさをつけて釣りを楽しめます。安全に気を付け、海を汚したり、他の人々の迷惑にならないよう心がけたりしながら、釣りの楽しさを満喫してください。

「若狭湾の自然」(冊子)などを利用して、釣った魚の名前を調べてみてください。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 磯釣りの楽しさを味わいながら、基本やマナーを身につける。
- 釣った魚は海に放ち、生命の尊さについて考える。また、環境の問題についても意識を高める。
- 活動エリアや定員などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの【場 所】			団体で準備するもの
釣りざお(竹ざお)	90本	【ピロティ】	活動に適した服装
メゴチばさみ	10本	【事務室】	タオル
プライヤー(糸はずし)	7本	【事務室】	帽子
バケツ	18個	【ピロティ】	ぬれてもよい運動靴
たも	5本	【ピロティ】	
※釣りえさ	必要数	【食堂事務室】	
※釣りセット	必要数	【食堂事務室】	
ライフジャケット(小・大)	300着	【ライフジャケット置場】	
無線機	1個	【事務室】	



釣りざお



メゴチばさみ



プライヤー



バケツ



たも



釣りえさ



釣りセット



ライフジャケット (左:小, 右:大)



無線機

手順

活動前

- 無線を1台貸し出しますので、事務室まできてください。
- 参加者の健康状態や持ち物を確認してください。
- 着替えは「宿泊棟」で行ってください。

活動中

- 必ずライフジャケットを着用して、活動しましょう。
- 磯釣りの区域で、楽しく活動しましょう。
- 利用者の事故防止のため、定員内で活動をしましょう。
- 適度に、休憩をしましょう。
- 緊急の事態が起きたときは、無線で事務室に連絡してください。

活動後

- 参加者の人数や健康状態を確認してください。
- 使用した道具など協力して片付けましょう。
- 釣りえさや釣りセットなど放置しないようにしましょう。
- 海水に浸かったライフジャケットは、水洗いをしましょう。
- 使い終わったライフジャケットは、ファスナー・バックルを締めてハンガーにかけてください。
- 館内に入る時は、水気をよくふき取り、砂を払い落として館内に入りましょう。
- 濡れたままや水着のみで館内を歩かないようによろしくお願いします。

ふりかえりの視点

- 海の生き物がとれましたか？活動を通して感じたことを共有しましょう。
- どんなことに気をつけながら活動を進めましたか？安全に気をつけることができた点については共有しましょう。

指導上の留意点

- 裸足・ビーチサンダルでの活動は大変危険ですのでやめてください。
- 環境保護の面から、えさの持込みは禁止しています。
- 釣りえさはオキアミです。事前に食数・クラフト等注文書にて注文し、当日、食堂事務室で受け取ってください。
- 釣りセットとは道糸、ウキ、ガン玉、ハリス止、針がセットになったものです。
- 使用後の釣糸、釣針、パック、ビニール袋は、事務室で処理します。
- 周囲の人に釣針が引っ掛からないように十分に間隔をとってください。
- 投げ釣りは、安全上から禁止しています。
- 釣った魚は必ず海に放ち、釣り場には残さないでください。

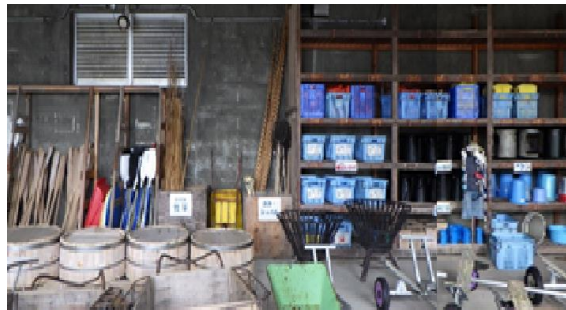
活動エリア・海の活動物品保管場所

トビーのライフジャケット講座

- ☆ ライフジャケットは前のファスナーとバックルをしっかりとめよう！
- ☆ ライフジャケットを着て、海に入って泳いではいけませんよ！
- ☆ ライフジャケットが海水でぬれてしまったら真水で洗おう。(団体旗用掲揚台の両脇にホースがあるよ)
- ☆ ライフジャケットを使い終わったら、元通りファスナーとバックルを締めてハンガーにかけておいてね！



釣りざお, バケツ, たも
【ピロティ】



無線
【自然の家事務室】



釣りえさ, 釣りセット
【食堂事務室: 地階】

